

テーマ ふるさとの良さを知り、将来地元で貢献できる人材を育む。

目標	①ふるさとについての学びを通して、充実感や達成感を味わい、自己肯定感を高める。	育成したい 資質・能力	自分を律して学びに向かう主体性	郷土を愛し、地域に感謝する心	自ら培った創造性やチャレンジ精神
	②ふるさとへの愛着や誇りを育む。		↓		
	③地域の活性化に向けて積極的にチャレンジする精神を育む。		実社会の中で実践していく意欲や態度		

外部連携機関
(行政機関・事業所)

- 佐世保福祉法人むすび会佐世保市福祉活動プラザ
- 佐世保市選挙管理委員会

長崎県立佐世保中央高等学校 通信制課程
(普通科、生徒数511名)

連携

ふるさと教育検討委員会 【委員長】校長 【副委員長】教頭
教務管理部担当、学習支援部担当、生徒支援部担当

協働

主な取組

○校内行事での取組

- 5月 研修旅行（県北地区の施設等見学により地域産業の理解を深める）
- 5月 地域ボランティア清掃（平戸街道等、地域にある史跡の理解と地域の清掃活動）
- 6月 キャリア教育学習会（県内の大学・短大・専門学校・高等技術専門学校を招いて説明会の実施）
- 7月 平和学習（アジア・太平洋戦争、原爆投下について知り、理解を深める）
- 10月 中央祭（三課程合同文化祭）（地域の方と交流イベントの開催）
- 11月 主権者教育（佐世保市選挙管理委員会の連携。地元の政治へ興味関心の喚起や主権者としての意識向上を図る）

○学習活動での取組（例）

- 〈地歴・公民科〉…添削指導等（レポート）で県内の史跡紹介、現在の産業に関する記載を入れる。学校ホームページ上に県内史跡訪問時の体験談や史跡がある自治体のURLを掲載する。
- 〈理科〉…添削指導等（レポート）に学校周辺のハザードマップや地域の地形、気候に関する出題をする。
- 〈家庭科〉…添削指導等（レポート）で「長崎県の郷土料理」に関する出題をする。実習等で郷土料理を扱う。「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域の認知症の方への接し方や心構えを学ばせる。
- 〈部活動〉…ボランティア同好会で地域の子供食堂の活動参加を実施し、学習支援や食事作りの援助を行う。

成果指標

(1) レポート学習や行事での学びを通して、ふるさとの理解が深まり、充実感が得られた生徒の割合	50%
(2) 将来ふるさとに貢献したいとい意識が高まった生徒の割合	50%
(3) 生徒に求める資質・能力の育成に資するよう授業改善を行った教員の割合	50%

